

本のまちづくり、その背景と全国的な広がり

出版による地域活性化の事例を踏まえて

日時 —— 2022年6月2日(木) 17:50-19:20

場所 —— 群馬大学 荒牧キャンパス

8号館 113教室・320教室

講師 —— **藤井 建人** (公益社団法人 日本印刷技術協会 研究調査部長／主幹研究員)

対象 —— 学生・教職員・一般市民の方

参加 —— 無料

定員 —— 対面50名・オンライン100名 (先着)
(参加をご希望の方は、右記までお問い合わせください)

趣旨 —— まず、出版産業の全体像とデジタル化による変容を概観する。電子出版がシェアを高め、印刷出版が伸び悩む。書籍はいちおう下げ止まったが、雑誌の落ち込みが止まらない。長らく続いてきた出版構造不況によって、書店空白地帯が増えるなど生活者に実際の影響が出始めた。たとえば「静かに読書するところ」だった図書館の役割も変わりつつある。

また、独自性ある書店やブックカフェが空白地帯を埋める動きも活発化している。デジタル印刷を活用して、身近なテーマで手軽に書籍を制作販売して楽しむ人々も増えた。こうして、本のコミュニティ形成機能、認知機能、集客機能を再評価し、まちづくりに生かすムーブメントが全国に広がっている。その背景と手法について、事例を踏まえて考察する。

主催 —— 群馬大学 社会情報学教育研究センター

問い合わせ —— 情報学部 准教授 平田 知久

TEL: 027-220-7493

E-mail: tomohira@gunma-u.ac.jp